

## 自然農園だより



宮下 洋子  
Hiroko Miyashita

ボランティアさんたちと朝の挨拶

## 最高の誉め言葉！

先日ボランティアに来て下さったご夫婦が、平日に来られて、

「ご主人はどちらですか」と聞かれました。

「新しい倉庫の方にいると思いますけど・・・」

「エッ、後ろ姿がスリムなので、ご主人ではないと思いました。」

先日、転んで頭を打って以来、食欲がなく、しばらく、甘夏とジューシーフルーツしか食べていなかったもので、ずいぶん痩せました。頭痛がするということで、心配して病院に行きましたが、何もありませんでした。でも、何か心境の変化があったようです。(主人の報告と合わせてお読み下さい。)

## ボランティアさんと老人力

ボランティアさんのお陰で、大分、作業の遅れが取り戻せて来ています。

池田さんがいなくなったのと、旭川への息子の引っ越しと、築77年の自宅のリフォームなど、思ったより手間取ってしまいました。どうなる事やらと思ったのですが、主人も、主体的、積極的に働いてくれるようになってきたのと、私たちと高田さんとのコンビも息がピッタリで、仕事が良くはかどるようになってきました。あなどれません、老人力！！



ほうれん

## 法蓮草が終了

あれだけたくさん穫れた法蓮草もほぼ終了しました。苗作りしたいろんな野菜の定植をするための場所づくりで忙しくて、次の作を連続して植えられなかったもので、しばらく法蓮草はありません。運悪く、5月末の30

度越えの暑さの前に植えた法蓮草が、今、きれいに発芽したところです。ほうれん草は暑さに弱く、発芽しにくいのですが、催芽処理もしていないのに今までで一番きれいに発芽したので。きっと、主人の肥料設計と、真空播種機と、灌水設備の3点セットだと思います。

でも、だんだん暑さに向かうこれからが大変です。大体こんなに暑くなって法蓮草は植えたことがなかったので、実験的な意味合いもあります。

どうして今まで植えなかったかと言うと、どんなに品種を選んでも、春夏はすぐトウ立ちしてしまうからです。それに日本法蓮草は、本来は秋冬の野菜で、春にはトウ立ちして花を咲かせ、種を残すというのが本来なのです。それに西洋種と交配させたり、トウ立ちしにくい西洋種だけの種とかあって、春にはその品種を植えています。

## 自家採種の妙味

西洋種の種は丸く、日本種の種はトゲがあります。丸種の西洋種の種を自家採種す



法蓮草の収穫

ると、トゲのある日本種の種も混ざってきます。きっと、味の良い日本種の種と交配させているのだと思います。種苗会社は、きっと、丸種の方が播きやすいので、味の遺伝子も取り入れつつ、種の形は丸いものを選抜し、ハイブリッド品種（F1）を作っているのだと思います。それを自家採種すると、先祖帰りして、トゲのある種も出てくるようです。

そして、それをまた自家採種して植えると、トゲのある種からは、葉っぱも尖った剣葉種になり、丸い種からは、丸っぽい葉っぱの丸葉種になります。その中間のようなものもあります。まほろば農園の法蓮草は、生命の多様性そのものです。

揃いが悪くて不格好ですが、敬遠しないで下さいね。みんなのびのびと個性を謳歌しています。





### 3 作目が飛んで、4 作目

例年、ハウスで一作目（3月4日と12日）、雪が解けてから、露地で2作目（4月下旬）を植えます（今、終了した法蓮草です）。

3作目は、露地で5月中旬ごろに植えて、春作は終了します。それが植えられなくて、5月25日になってしまいました。5月25日は、3作目が飛んで4作目にあたります。

今までは、土が痩せていたので、ハウスの一作目から、半分も収穫しないうちに、すぐトウ立ちしてしまっていたのですが、2作目も大丈夫でした。それで、遅れたけれど、思い切って植えてみたのです。

### できるだけ資材を使わない農業を

この時期の法蓮草は、ハウスに植えるか、露地だと寒冷紗（紫外線をカットするための上掛け資材）を掛けるのが通例ですが、肥料設計と、灌水で、還元型に持って行って乗り切れないものかと考えています。できるだけ資材を使わない農業をやりたいからです。貧乏で人手不足で、安全性と環境を大事に考えるまほろば農園です。

環境汚染は避けたいし、資材をセットしたり、片付けたりの手間も省きたいし、資材の購入にもお金がかかるし、使えなくなった資材の処分にもお金がかかるからです。

これからは、6月の温度と紫外線との闘いです。闘いと言わないでコラボと言わせて下さい。ハウスの温室を片付けた後にも法蓮草を植えてみたいと思っています。

### 法蓮草がトウ立ちしないのは？

トウ立ちするのは、栄養成長から生殖成長に切り替わるからで、土が痩せていると、生殖成



長に切り変わりやすくなります。今年の法蓮草がトウ立ちしないのは、主人の肥料設計のお陰で、土が肥えてきたからだと思います。肥えてきたと言っても、チッソ肥料（ブラドミン）はほとんど入っていないくて、もみ殻堆肥やバーク堆肥、ヌカ、腐植酸、ゼオライト、各種天然ミネラルなどです。

また、法蓮草は、日照時間が長くなると、生殖成長に変わりやすくなりますが、今植えた法蓮草は、まさに一年で一番日照時間の長い6月が成長期にあたるので、最悪のシチュエーションです。どうなる事やら、見守るしかありません。

## チンゲン菜と、ターツアイを少々出荷

渇水不足で、虫食いだらけになったチンゲン菜と、ターツアイが、渇水できるようになって、中から新しい葉が出てきました。この時期の無農薬の露地の青菜は、ほとんどどこにもないと思うので、病気の方やアレルギーの方には貴重だと思います。少々見栄えは悪いのですが、あえて出荷することに致しました。量はたくさんありません。

## 露地野菜の意味と意義

露地野菜は、ただ無農薬、無化学肥料、O-1テストで作っているというだけで、付加価値があるわけではありません。今では、コンピューター管理の食物工場や水耕栽培など、科学的理想的に管理され、無農薬できれいな野菜が出来る条件も整っています。でも、O-1テストすると、いくら無農薬でも、なんだか頼りないのです。

## 生命力とは環境適応能力

自然は、時として、野菜の生育にふさわしくないとされる過酷な状況に見舞われます。

極端な寒暖差や、降雨の多寡、強風、紫外線、そのどれをとっても、常に野菜にとって理



想的とは言えません。しかも、刻一刻、複雑に変化していきます。でも、だからこそのいいのです。そのような自然条件の下で、環境に適応し、生き残るものだけが育つからです。生命力とは環境適応能力なのです。

O-1テストはそれを観ているのです。

露地野菜は、少しくらいしんなりしていても、洗ってビニール袋に入れて冷蔵庫に入れておくと、シャキツとしてびっくりするくらい元気になります。





## 栄養効果もしっかり

それに、目に見えない安全性や生命力だけでなく、栄養分析でも、ビタミンやミネラルが多く、特にビタミンCはダントツでした。（小別沢農園の時に、日本食品分析センターで小松菜を分析）、直射日光の紫外線に抗する為に、ビタミンCなどの抗酸化物質を多く産生するのも知れません。また、仁木農場でも分析してみたいと思います。

## 器量の悪い露地野菜

でも、常に風雨にさらされている露地野菜は、見栄えが悪く、正品率は低くなります。特に風が大敵で、折れたり、傷ついたり、色が悪くなったり、選別にも手間がかかります。

雨が降ると、泥がついて、収穫も選別も通常の倍も時間がかかってしまいます。洗うと傷みやすくなるし、水切りしたり、乾かししたりしている時間もないので（高田さんが札幌に帰る5時頃までに用意）、よほどひどくない限り、そのまま出荷しています。

ご理解いただければありがたいと思います。

## 今、穫れている野菜たち

ボランティアさんに苦労して草取りや、間引きをして頂いたイチゴが、少しずつ、穫れ始めました。

半結球のミニレタス（マノア）と、サニーレタスも感謝デーころには出荷の予定です。

ミツバ、ニラも、少しずつ出荷していきます。

キヌサヤ、今、花が咲いているところです。一週間後くらいに収穫に入るといいます。

## トマト系とピーマンは息子が

今年は、旭川に新規就農した息子（正大）が、トマト系とピーマンを作るといので、ハウスでは調理用トマト（調理用は作らないというので）を27メートルハウスに1列、30本だけ植えました。

50メートルハウスには、春一番の青菜系の後に、ナスときゅうりを植えてみました。露地の物が出来るまでの早穫り用として植えたのですが、植えるのが遅かったので、たいして早穫りにならないようです



その上、先日の大風で、ハウスの屋根のビニールが剥がれてしまったので、夜は露地と同じくらいの寒さになって、よけいに成長が遅れています。

## 「播かぬ種は生えぬ」、「植えぬ苗は育たぬ」

6月は、果菜類や豆類の収穫が始まると同時に、今まで植えた野菜の管理や草取り、支柱立、人参やキャベツ、カリフラワー、ブロッコリー、枝豆など、秋野菜の種まきもしていかなければいけないので、ますます忙しくなります。とにかく、「播かぬ種は生えぬ」、「植えぬ苗は育たぬ」なので、がんばって植えていきたいと思います。



## かわいふあ〜む

川合 浩平

ども—————！

ご無沙汰しております！

そして今年も宜しく願い致します！！

え？遅い？

そうなんです。

今年は1ヶ月遅れの登場です。笑



そしてついに本厄の年齢になってしまいました・・・。

では、今年の説明を簡単にしますと、1月に腰をやり、腰をかばいながら除雪、2月にはハウス張りをし、あ〜っという間に今になりました笑

腰をやった後、雪が少なくて本当に良かったです・・・

さてここ最近の天気。

今日（6月5日 23：55 は久しぶりに降った感じがあります。

が、5月は札幌もまったく雨が降りませんでしたし、暑かった。

暑すぎて雨も降らず降っても少しなので土がカラッカラに乾燥してしまい、雨でも水がしみ込みこまず、トラクターをかけたところは表面か



ら1cmの下は乾いている事が多かったです。  
実は、トラクターをかけると、雨が降らないと土が乾燥しやすくなり、雨がたくさん降ると土は乾きにくくなるのです。

これはトラクターのロータリーで下の土と表土を混ぜ合わせるためで、土の下の水分を上を持ってくる作用で乾きやすくなり、水の通り道を遮断することで雨で入り込んだ水が行き場所を失うため乾きにくくなります。

トラクターをかけた表土に草もない乾燥した土は強風に乗って舞い、土嵐となって空に舞い上がり、畑の土はどんどん少なくなっていくます。

しかし、もしロータリーをかけなければ、草があつたり平らな土じゃないと機械での種まきはできませんし、苗を植えるにしても草を刈って苗を植える所の根を切つて・・・、と作業手間が10倍近く増えると思います。

トラクターのロータリーをかけるのは、人間の農作業効率を上げるためだけと言っても過言ではありません。

化石燃料を使うので、もちろん環境に良いわけが無いです。

よく「いい土の条件は水持ちが良くて、水はけのいい土」と言われますが、まさに逆を行くのがトラクターのロータリーなのです。

他にも団粒構造を壊したり、微生物のかく乱を招いたり、負の側面は色々あります。

最近、不耕起栽培が注目されていたのは、そんな一面を見直した結果でもあったりするのです。

かわいふあ～むでも不耕起栽培はやりたかったのですが、管



理などの作業効率を考えると難しい面もあり・・・、

まあ、不耕起栽培も色々あるのですが、それはまたおいおい。

真面目過ぎて、らしくなくなりましたね笑

そしてその雨がなかったおかげで色々成長も遅く、ほぼ全滅に近いところもあります・・・

雨がなかったので、種まきの後に不織布を掛けてい

ない所は、発芽した双葉を最後に消えていきました。そんな乾燥なので、畑の草の発芽が少なく、例年より色んな緑の少ない畑になっております。

変わったことと言えば、今年はハウスでズッキーニを栽培しています。

面白い事に寒い時は雄花が

多く、雌花が少ないので収穫がほとんどない日が多かったのです。

今はもう収穫しているのですが、今年は暖かいので露地で早くからトンネルを掛けて栽培しても、もう収穫できていたと思うのでハウスで栽培してみた感想を一言でいえば「やっちまったー」です。



そんな温度が高い今年は、水さえあれば作物はどんどん育っていきます。

しかしそんなにかいがいしく水をあげられないのが、一人農業のツライ所。

好きな苗に思い思い愛情たっぷりに水を注ぐ隣の家庭菜園の主たちを横目に、枯れそうな野菜たちに愛情たっぷりの視線を送るだけの自分の畑では、その差は歴然たるものです。

玉ねぎは植えた後、乾燥と高温で苗が逃げ出したのかと思うくらいなくなったり、乾燥で定植したトウキビやエダ

マメが2週間近く成長が止まったりと、素直な自分は雨降る降る詐欺に騙され徒労と虚無感だけが残し、雨をあてにしないようにしなきゃいけないと、改めて痛感しました。

そして、今年は早くも近くの小川の水が真夏並みの水量に下がってきていて、これからが心配です。

さて、今年は秘密兵器が登場しました。

例年収穫し終わった畑は草が生い茂り、草を刈る時間も惜しくて手を付けないままにしてしまった反省もあり、思いきって草刈の機械（ハンマーナイフモア）を導入しました。

一回生い茂ると、草刈り機で草を何回かに短く切り分けて（めちゃくちゃ時間かかる）、乾いてからトラクターをかけるという作業の流れなのですが、大量の草が土の上におおいかぶさり土が乾かないので、結構時間が経たないとトラクターをかけられないというジレンマがありました。

このハンマーナイフモアは、重量がトラクターよりも断然軽いので雨の後でも作業が可能（土を踏み固めない）で、草を粉々に粉碎してくれるので、草も土も乾燥が早く、トラクターのロータリーにも絡むことがないので、刈ってから短



時間でトラクターをかける事が出来るようになりました。

作業時間は今までの草刈り機の4分の1くらいで済み、作業してる間は座っていられるので、身体の負担もぐっと減り、いいことづくめでした。

ただ、もちろん難点もありまして・・・

諭吉さんがたくさん羽ばたいていなくなり、ハウスの脇で使うにはちょっと大き

過ぎて使えないのと、傾斜で安定感がないのが☆1つ減点ですが、公園の芝生刈にはめちゃくちゃ効果を発揮できそうです。

ので、草刈アルバイトの依頼お待ちしております！！笑

次号は、「ついに鳥かっちゃうよ？」「直売所いよいよ！」の2本立てでお送りいたします。笑

あ！忘れてた！

今年度も常時ボランティアさんをお待ちしております！

お陰様で5月は色々な人に助けをもらい、1人で作業したのはたぶん5日位しかありませんでした。

ツワモノになると仕事前に早朝に1時間だけ来てくれる方など、皆さんご自分の都合と体力に合わせて来て頂いています。

多くは語りませんが、畑を楽しみましょう！笑

では、7月も宜しくお願いします！！

